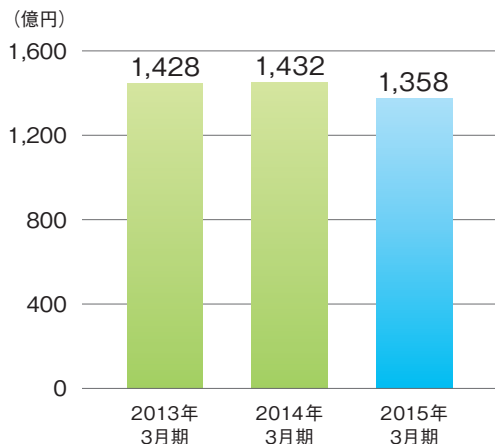


売上収益

1,358億円 前期比 **5.2%減**

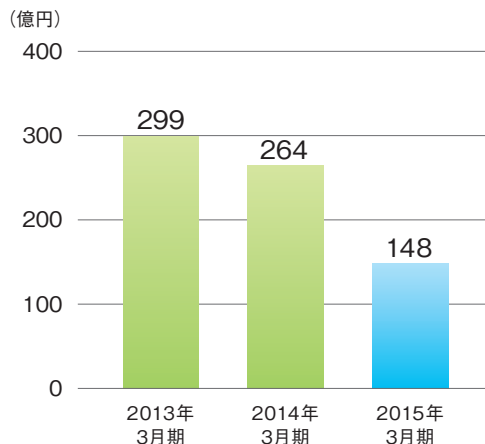


薬価引き下げと後発医薬品使用促進策の影響により減収

長期収載品については、後発品の影響はある程度見込んでいましたが、想定以上に後発医薬品使用促進策の影響を受けました。また、主要新製品についても消費増税前の仮需要の反動に加えて、競合品との競争激化の影響を受けた結果、当期の売上収益は前期比75億円(5.2%)減の1,358億円となりました。

営業利益

148億円 前期比 **44.0%減**

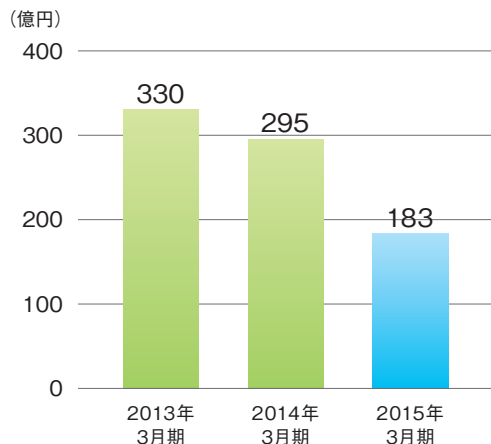


売上原価および研究開発費を除く販管費の増加などにより減益

売上収益の減少に加え、原価率の高い新製品(導入品)の売上収益に占める割合が上昇し、売上原価が増加しました。また、新製品上市に関わる経費が多く発生したことや市販後調査費用が増加したことなどにより、研究開発費を除く販売費及び一般管理費も増えた結果、当期の営業利益は前期比116億円(44.0%)減の148億円となりました。

税引前当期利益

183億円 前期比 **37.9%減**

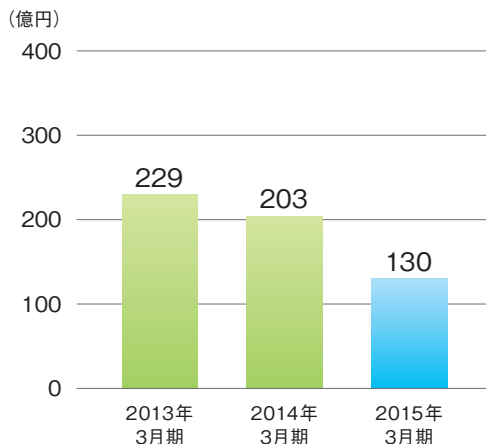


金融収支は前期比増となるものの、 営業減益を補えず、減益

金融収支は前期比5億円増の35億円となりましたが、営業減益を補えず、税引前当期利益は前期比112億円(37.9%)減の183億円となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益

130億円 前期比 **36.2%減**



税負担は減少するも、減益

税引前当期利益が減少したことに伴い、税負担が38億円減少しました。

その結果、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比74億円(36.2%)減の130億円となりました。

※2013年3月期および2014年3月期の各財務数値は、会計方針の一部変更に伴い遡及修正を行っています。